議会開会中

第3回定例会

主な議案のあらまし

平成30年第3回定例会は、9月5日から19日までの15日間の日程で開催しました。

本定例会では、平成30年度補正予算、条例改正などの審議のほか、

平成29年度各会計決算について市長から決算大綱説明が行われ、決算審査特別委員会で審査を行いました。

また、市政について14人の議員が一般質問を行いました。

◎平成29年度各会計決算

決算審査特別委員会で慎重な審査を行い、各会計決算8件を本会議において認定しました。

決算額は、一般会計が歳入20億4、120万円に対し、歳出19億7、693万円、差し引き6億6、427万円の剰余となりました。

国民健康保険特別会計は、歳入55億7、479万円に対し、歳出55億9、956万円、差し引き不足額2、477万円となり、翌

年度歳入繰上充用金で補てんしました。

公営住宅事業特別会計は、歳入8億4、504万円に対し、歳出7億8、647万円、差し引き5、857万円の剰余、介護保険特別会計は、保険事業勘定で、歳入38億3、392万円に対し、歳出36億9、485万円、差し引き1億3、907万円の剰余、介護サービス事業勘定で、歳入1億92万円に対し、歳出8、086

万円、差し引き2、006万円の剰余、後期高齢者医療特別会計は、歳入5億8、362万円に対し、歳出5億8、253万円、差し引き109万円の剰余が生じました。

また、土地区画整理事業特別会計は、歳入9、587万円に対し、歳出9、587万円、歳入歳出同

額となりました。

下水道事業会計の収益的収支は、事業収益13億1、242万円に対し、事業費用12億5、020万円、6、222万円の純利益、資本的収支は、収入7億5、405万円に対し、支出13億958万円、差し引き不足額5億5、53万円となり、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金、減債積立金、当年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

病院事業会計の収益的収支は、事業収益67億2、499万円に対し、事業費用は67億8、199万円、5、700万円の純損失、資本的収支は、収入1億470万円に対し、支出5億4、777万円、差し引き不足額4億4、307万円となり、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度分損益勘定留保資金で補てんし、なお不足する額は一時借入金で措置しました。

◎平成30年度補正予算

一般会計は、補正予算第3号により1億449万5千円を増額補正し、総額200億5、032万

6千円となりました。

補正予算に計上された主な事業費等は、7月3日から4日にかけての大雨により被害を受けた第一江部乙川ほか4件の河川の復旧を行うための経費2、113万2千円、同じく被害を受けた石狩川河川敷パークゴルフ場、石狩川野球場および空知川河川敷サッカー場の復旧を行うための経費622万2千円、火災により被害を受けた丸加山牧野管理施設の復旧工事のための経費1、377万円、開西中学校の暖房システムの機器更新等に伴う経費380万1千円、子育て世代包括支援センター開設に伴う経費764万3千円などです。

介護保険特別会計は、補正予算第1号により保険事業勘定において平成29年度の介護給付費に係る国庫支出金等の精算による償還金の増額のため、4、669万1千円を増額補正し、総額42億1、436万6千円となりました。

公営住宅事業特別会計は、補正予算第1号により、啓南団地8号棟火災住宅復旧工事のため954万7千円を増額補正し、総額8億7、878万7千円となりました。